

まちづくりフォーラム 2014 実施報告

平成26年2月11日（祝）13:30～16:30に総合福祉保健センター6階大会議室にて「あなたのチカラが地域で役立つ地域コミュニティとの関わり方」をテーマに「まちづくりフォーラム2014」を開催しました。

当日は粉雪が舞うあいにくの天候の中、高校生や大学生、市内団体や事業者の皆さん、一般公募の市民約70名にご参加いただきました。

冒頭、市より「後期基本計画の概要」と「今後のまちづくりの見通し」について説明させていただいた後、基調講演とグループディスカッションを行いました。

1 基調講演 NPOフュージョン長池理事長 富永一夫さん



・八王子市にて「地域の暮らしをよくする」ために実践してきた活動をもとに具体的な事例を交えながらお話いただきました。主なキーワードは次のとおりです。

- 自分の住んでいる地域に役立ちたい、という気持ちから活動ははじまる。
- 「私が」何ができるんだろう を考えることが大切。
- 新しい人間関係は挨拶をしない限りは始まらない。挨拶は基本。
- 「私がやりたい」と思っていることに相手をひっぱらない。⇒「私が応援しますから、Aさんのやりたいことを実現しましょう」と進めることが大切。
- できたらいいな、を実現する応援団。
- それぞれの夢を実現するために、特化した能力を発揮できるとよい。
- 仕事では「売上」という形で成果があがるが、地域では「喜び」が増えるという形で成果があがっていく

2 グループディスカッション（ワールド・カフェ方式にて）



- ・後半は、高校生や大学生、市内団体や事業者の皆さんによるグループディスカッションを行い、「地域コミュニティ」について意見交換をしました。
- ・今回は、「ワールド・カフェ方式」で実施しました。3つほどの問いについて、グループを移動しながら自由に意見交換をする方式です。
- ・いただいたご意見は、平成26年度に策定する「第3次実施計画」の策定に活かすこととしています。
- ・最後の問いで座ったテーブルごとにご意見を紹介します。

【テーブル①】

- 若い人が市の外に出てしまっている。若い人を鎌ヶ谷市に呼び込むことが重要。
- 若者が集まる施設（ゲームセンターやカラオケ、飲み屋など）があるとよい。
- 地域のつながりを強くするためにも市の魅力をPRしていくことが必要。

【テーブル②】

- 地域を活性化するために実際活動している自治会の方のアツい想いを感じた。
- どうしたら若者が参加できるのか考える必要がある。
- 若者の感じている「地域」と実際の「地域」とのズレを解消していく必要がある。

【テーブル③】

- 近隣の付き合いが薄くなっている中、「もっと付き合いを深くしたい」という想いはみんなもっていることが確認できた。
- なにかのきっかけがあると参加するようになる。
- 市民まつりについて若い世代はほとんど知らなかったが、実際の内容を聞いてみると魅力的でぜひ行ってみたいと思う。
- SNSなどを活用して情報発信をしていくとよい。

【テーブル④】

- 住民への声かけや隣にどんな人が住んでいるかを知ることが大切。
- そういうことのきっかけとしてイベントは有効。
- ただ、防災訓練などだけではヒトは来ないので、カレーや芋煮など付加価値をつけて「まずは行ってみよう」というイベントにすることが大切。
- 若い人たちへの情報発信が上手くいっていないので、かまたんの協力を得るなどしていく必要がある。

【テーブル⑤】

- 若い世代が楽しめるような場所が鎌ヶ谷市内に少ない。
- 年の差関係なく参加できるようなイベントが必要。

【テーブル⑥】

- 自治会や地域活動は年配の方たちだけでは回らない。若い世代が絶対に必要。
- 餅つきや神輿など、「若い世代だからこそ」役に立てるイベントをきっかけに地域活動に参加するようになるのでは。誰でもよいではなく「若い世代だから」ということでの声かけがあると参加しがいもある。
- 親などから声かけをすることも有効

【テーブル⑦】

- 日頃からのあいさつは基本。
- 若い人たちのパワーを活かせていないので、イベントの魅力を前面に押し出していくことが必要。
- 高齢者の安否確認など見てわかるような活動の積み重ねが大切。

【テーブル⑧】

- 鎌ヶ谷市は近隣自治体よりも小さいが、公共施設は同水準で整備されている。
- こういった施設を活用してイベントをしていくことができると思うので有効に活用できるとよい。

3 全体コメント NPOフュージョン長池理事長 富永 一夫さん



- ・グループディスカッション終了後、基調講演講師の富永さんより全体へのコメントをいただきました。主な内容は以下のとおりです。

- 地域の活性化は①よそ者、②バカ者、③若者 が必要とよく言われる。
- 今日のフォーラムは、鎌ヶ谷市の外（＝よそ）から若者がたくさん参加している。
- こうした方は、良いところも悪いところも鮮明に見える。
- その意見を聴いてみるのができたことは大事。
- 受け止めて地域で何かをやろうとすると「バカ者」と言われるようになるが、誰か活動する人がいると違うリズムが流れ、若者が集まってきて「あれ？おもしろいな」というようになる。
- 若者にとっては非日常が楽しい。
- 若者が鎌ヶ谷に興味をもって「やりたい」と思うことを応援していただきたい。
- たまには若者の無謀な「やりたい」を手伝ってあげることが大事。年金は若者に背負っていただく仕組みに今の日本はなっている。「若者が経験を積む」部分を年配者が背負っていけるとよい。
- 「若者を取り込もう」という発想ではなく、若者を応援する姿勢。
- はじめて地域活動に出てきたヒトが一番大切にされるようになると、「必要にされている」ということで次も出てきてくれる。
- 地域活動を活発にする上では「鎌ヶ谷の宝物さがし」をすることも大切。今日の参加者が一つずつ宝物を挙げるだけでも相当な数になる。そうした宝物を磨いていくと外からも褒められ、やる気につながってくる。
- 私も様々なイベントでお話させていただくが、これだけ若者に来てもらっているフォーラムははじめて。今日この瞬間に鎌ヶ谷市の小さな歴史が動いた。
- 今日を一步として今後も取組みをしていっていただきたい。

4 アンケート結果

- ・当日来場の方にアンケートにご協力いただき、満足度については次のような結果となりました。

| 項目 | 回答数 | 割合 (%) |
|-----------|-----------|--------------|
| 1 大変よい | 24 | 47.1 |
| 2 よい | 26 | 51.0 |
| 3 悪い | 1 | 2.0 |
| 4 大変悪い | 0 | 0 |
| 合計 | 51 | 100.0 |

- ★当日は、職員の皆さんにも多数ご来場いただきました。
- ★今回実施した「ワールド・カフェ方式」によるグループディスカッションは、参加者の満足度も高く、多様なご意見をいただける手法です。
- ★もし各所属での実施を検討される際には企画政策室までお気軽にお問合せください。